

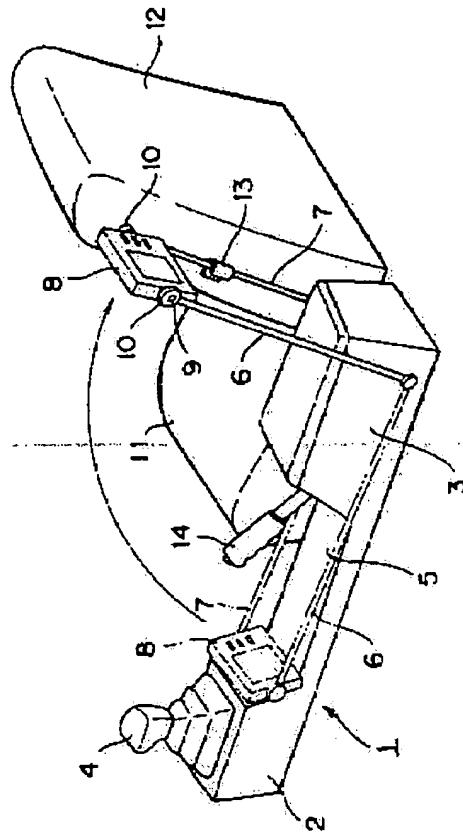
Searching by Document Number

** Result [Utility-model] ** Format(P803) 09.Oct.2003 1/ 1

Application no/date: 1989-102343 [1989/08/31]
Date of request for examination: []
Public disclosure no/date: 1991- 40257 [1991/04/18]
Examined publication no/date (old law): []
Registration no/date: []
Examined publication date (present law): []
PCT application no
PCT publication no/date []
Applicant: NISSAN MOTOR CO LTD
Inventor: SATO RYOSUKE
IPC: B60R 11/02 G09F 9/00 ,351 H04N 5/64
H05K 7/14
FI: B60R 11/02 C G09F 9/00 ,351 H05K 7/14 R
H04N 5/64 ,581E
F-term: 5E348FF01,5G435AA01,AA18,EE02,EE13,EE16,LL04,LL17,3D020BA05,BB01,
BC09,BC10,BD01,BD02,BD09
Expanded classification: 262,421,446,449
Fixed keyword:
Citation:
Title of invention: A mounting structure of television for auto

Abstract:

SUMMARY: Television body is leaned against a posterior face of shift lever department to arrange on on side before stepped portion of console box, and it disposes, and it can be done with television allocation for front seat crewmen, and shi foot is put up, and it is waked up, and fit to a support stoper of a seat back side of the front sheet such that it engages with a support stoper of a seat back side of the front sheet, and it is fixed, and it makes fix television body at seat back side top, and it can be done with television allocation for backseat crewmen.
(Machine Translation)



Priority country/date/number: () [] ()

Classification of examiners decision/date: () []

Final examinational transaction/date: (withdrawal by no request for examination)

Examination intermediate record:

(A63 1989/ 9/ 1, PATENT APPLICATION UTILITY MODEL REGISTRATION APPLICATION, 11000

(A23 1989/ 9/22, NOTICE OF APPLICATION NUMBER, :)

(A300 1993/10/ 7, MAKING OF FILE WRAPPER EXTRACTION LIST OF UNREQUEST FOR EXAMINA

*** Trial no/date [] Kind of trial [] ***

Demandant: -

Defendant: -

Opponent: -

Classification of trial decision of opposition/date: () []

Final disposition of trial or appeal/date: () []
Trial and opposition intermediate record:

Registration intermediate record:

Amount of annuities payment: year
Lapse date of right: []
Proprietor: -

⑫ 公開実用新案公報 (U)

平3-40257

⑬ Int. Cl. 3

B 60 R 11/02
 G 09 F 9/00
 H 04 N 5/64
 H 05 K 7/14

識別記号

3 5 1

府内整理番号

C 8920-3D
 Z 6422-5C
 R 7605-5C
 R 7301-5E

⑭ 公開 平成3年(1991)4月18日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全1頁)

⑮ 考案の名称 自動車用テレビの取付構造

⑯ 実 願 平1-102343

⑰ 出 願 平1(1989)8月31日

⑱ 考案者 佐藤 良祐 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地 日産自動車株式会社
内

⑲ 出願人 日産自動車株式会社 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地

⑳ 代理人 弁理士 志賀 富士弥 外3名

㉑ 実用新案登録請求の範囲

コンソールボックスの前側のシフトレバー配設部と後側のボックス部との間に段部を形成すると共に、ボックス部の両側に支脚を前後方向に回動自在に軸支し、これら支脚の自由端部間にテレビ本体を回動調節自在に装着する一方、フロントシートのシートパックの側部に前記支脚の支持ストップを設け、該支脚の起伏回動によりテレビ本体をシフトレバー配設部の後側面部と、フロントシートパック側部とに配置変更可能としたことを特

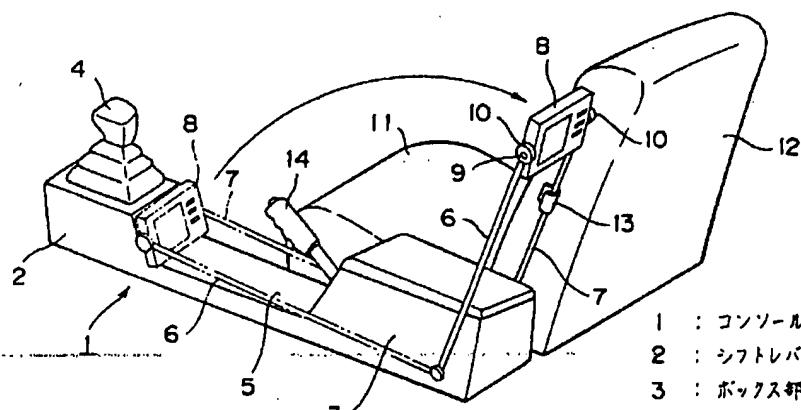
徴とする自動車用テレビの取付構造。

図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施例を示す略示的斜視図、第2図は支持ストップの取付状態を示す斜視図である。

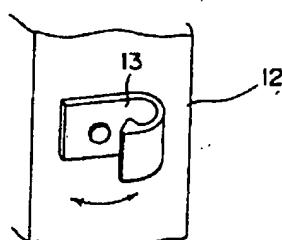
1……コンソールボックス、2……シフトレバーアクセス部、3……ボックス部、5……段部、6, 7……支脚、8……テレビ本体、11……フロントシート、12……シートパック、13……支持ストップ。

第1図



- 1 : コンソールボックス
- 2 : シフトレバー配設部
- 3 : ボックス部
- 5 : 段部
- 6, 7 : 支脚
- 8 : テレビ本体
- 11 : フロントシート
- 12 : シートパック
- 13 : 支持ストップ

第2図



公開実用平成3-40257

⑩日本国特許庁(JP)

⑪実用新案出願公開

⑫公開実用新案公報(U)

平3-40257

⑬Int.C1.

B 60 R 11/02
G 09 F 9/00
H 04 N 5/64
H 05 K 7/14

識別記号

351

庁内整理番号

C 8920-3D
Z 6422-5C
R 7605-5C
R 7301-5E

⑭公開 平成3年(1991)4月18日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全頁)

⑮考案の名称 自動車用テレビの取付構造

⑯実願 平1-102343

⑰出願 平1(1989)8月31日

⑱考案者 佐藤 良祐 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地 日産自動車株式会社
内

⑲出願人 日産自動車株式会社 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地

⑳代理人 弁理士 志賀 富士弥 外3名



明 細 書

1. 考案の名称

自動車用テレビの取付構造

2. 実用新案登録請求の範囲

(1) コンソールボックスの前側のシフトレバー配設部と後側のボックス部との間に段部を形成すると共に、ボックス部の両側に支脚を前後方向に回動自在に軸支し、これら支脚の自由端部間にテレビ本体を回動調節自在に装着する一方、フロントシートのシートバックの側部に前記支脚の支持ストッパを設け、該支脚の起伏回動によりテレビ本体をシフトレバー配設部の後側面と、フロントシートバック側部とに配置変更可能としたことを特徴とする自動車用テレビの取付構造。

3. 考案の詳細な説明

産業上の利用分野

本考案は自動車用テレビの取付構造に関する。

従来の技術

自動車用テレビの取付構造としては、従来例えれば実開昭62-139850号公報、実開昭61

137048号公報に示されているように、インストルメントパネルに組込んだり、ルーフに格納、展開自在に組付けたものが知られている。

考案が解決しようとする課題

テレビ本体をインストルメントパネルに組込むものにあっては、スペースの確保が難しくレイアウトに大きな制約を受けてしまう。また、ルーフに格納、展開自在に組付けるものにあってもスペースの確保が難しく、乗員の頭上空間を狭めてしまう不都合がある。更に、これら何れのものにあっても、テレビの無い一般仕様の車両とではインストルメント構造あるいはルーフ構造が専用化して兼用することができなくなってしまうことからコスト的にも不利となってしまう。そこで、本考案はスペースの確保が容易であり、かつ、車室内構成部品を専用化することもなく、しかも、前席乗員用、後席乗員用に隨時容易に配置変更することができて使用性を向上できる自動車用テレビの取付構造を提供するものである。

課題を解決するための手段



コンソールボックスの前側のシフトレバー配設

部と後側のボックス部との間に段部を形成すると共に、ボックス部の両側に支脚を前後方向に回動自在に軸支し、これら支脚の自由端部間にテレビ本体を回動調節自在に装着する一方、フロントシートのシートバックの側部に前記支脚の支持ストッパを設け、該支脚の起伏回動によりテレビ本体をシフトレバー配設部の後側面部と、フロントシートバック側部とに配置変更可能としてある。

作用

支脚を前倒しにすると、テレビ本体はコンソールボックスのシフトレバー配設部の後側面部で段部上に定置され、前席乗員用の配置となる。また、支脚を立て起してフロントシートバック側部の支持ストッパに係着固定すれば、後席乗員用の配置となる。

実施例

以下、本考案の一実施例を図面と共に詳述する。

第1、2図において、1は車体のフロントフロア中央部に配設されたコンソールボックスを示し、



このコンソールボックス1はシフトレバー4を配設した前側のシフトレバー配設部2と、後側のボックス部3との間に段部5を形成してある。ボックス部3両側の後部下側には支脚6、7を前後方向に回動自在に軸支しており、これら支脚6、7の自由端部間にテレビ本体8を支軸9により回動自在に装着してある。支軸9端にはハンドル10を取り付けてあり、このハンドル10の操作によりテレビ本体8の配置角度を自由に回動調節できるようになっている。支脚6、7は前倒した時に、テレビ本体8がシフトレバー配設部2の後側面部で段部5上に定置できるような長さとしてある。勿論、この支脚6、7はテレスコピックタイプとして長さ調節できるようにしてもよい。一方、フロントシート11のシートバック12の側部上方には、支脚7を受け止めて支持する略U字状の支持ストッパー13を回動自在に軸支してある。第1図中14はパーキングブレーキレバーを示す。

以上の実施例構造によれば、支脚6、7を前倒すれば、テレビ本体8はコンソールボックス1



前側のシフトレバー配設部2の後側面部で段部5
上に定置されて、前席乗員用のテレビ配置となる。
支脚6、7を立て起して支持ストッパ13に係着
固定すれば、テレビ本体8はシートバック12の
側部上方に定置されて、後席乗員用のテレビ配置
となる。何れの場合にも、ハンドル10の操作に
よりテレビ本体8の配置角度を回動調節すること
により、視認性を良好にすることができる。また、
前述の前席乗員用のテレビ配置にした時には、両
側の支脚6、7が段部5の両側にフェンス状に配
置されるため、この段部5に小物類を収容するこ
ともできる。

考案の効果

以上のように本考案によれば、コンソールボッ
クスの段部前側上でシフトレバー配設部の後側面
部にテレビ本体を立て掛け配置して前席乗員用の
テレビ配置とすると共に、支脚を立
て起してフロントシートのシートバック側部の支
持ストッパに係着固定して、テレビ本体をシート
バック側部上方に定置させて後席乗員用のテレビ



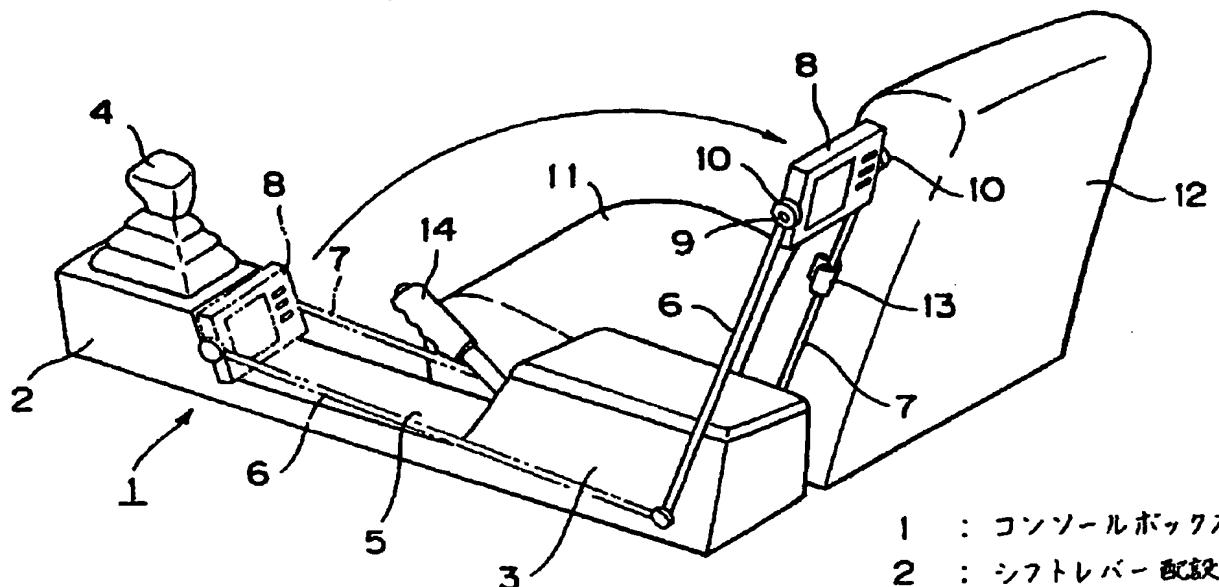
配設とすることができる、前席乗員、後席乗員の二人に合わせたテレビ配設とすることができますて使用性を向上することができる。また、このようにコンソールボックス上方の自由空間部分にテレビ本体を配置できるため、従来のインストルメントパネル組込みタイプやルーフ組込みタイプのようにレイアウトに制約を受けたり、車室内構成部品を専用化することもないでコスト的に有利となることは勿論、車室内の居住空間を狭めることもないという利点がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施例を示す略示的斜視図、第2図は支持ストッパの取付状態を示す斜視図である。

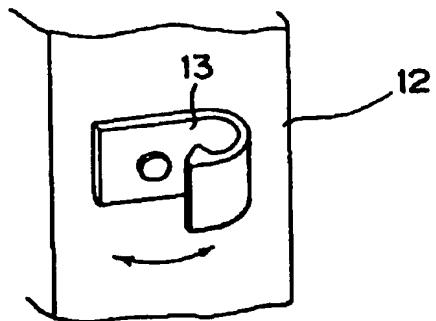
1 … コンソールボックス、2 … シフトレバー配設部、3 … ボックス部、5 … 段部、6, 7 … 支脚、8 … テレビ本体、11 … フロントシート、12 … シートバック、13 … 支持ストッパ。

第 1 図



- 1 : コンソールボックス
- 2 : シフトレバー配設部
- 3 : ボックス部
- 5 : 級部
- 6,7 : 支脚
- 8 : テレビ本体
- 11 : フロントシート
- 12 : シートバック
- 13 : 支持ストッパー

第 2 図



929

実開3-40251

代理人弁理士 志賀富士弥